



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月10日

上場会社名 株式会社ティーガイア 上場取引所 東
 コード番号 3738 URL http://www.t-gaia.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹岡 哲朗
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経営企画部長 (氏名) 俣野 通宏 TEL 03 - 6409 - 1010
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切り捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	464,092	△8.9	9,693	15.4	9,637	15.5	5,333	16.1
26年3月期第3四半期	509,425	△6.3	8,396	3.6	8,345	4.4	4,593	4.1

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 5,410百万円 (16.2%) 26年3月期第3四半期 4,656百万円 (6.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	77.56	-
26年3月期第3四半期	58.17	58.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	165,542	26,772	16.1
26年3月期	199,631	23,713	11.8

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 26,608百万円 26年3月期 23,594百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	-	17.50	-	17.50	35.00
27年3月期	-	17.50	-	-	-
27年3月期(予想)	-	-	-	17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	720,000	1.8	13,000	1.9	12,800	1.1	7,250	6.1	105.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	79,074,000株	26年3月期	79,005,600株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	10,300,336株	26年3月期	10,300,336株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	68,756,237株	26年3月期3Q	78,965,838株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は平成27年2月10日（火）に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報
(1) 経営成績に関する説明
(2) 財政状態に関する説明
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項
3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間
四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
(セグメント情報等)

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年4~12月)におけるわが国経済は、政府の金融政策や経済対策により企業収益が改善するなど緩やかな回復基調にありましたが、消費税率引き上げや急激な円安に伴う物価上昇により個人消費の低迷が懸念される等、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループ(当社および連結子会社)の主な事業分野である携帯電話等販売市場においては、期初には前期末の駆け込み需要の反動により販売は低調に推移したものの、主要通信事業者3社による新料金プランの導入に加え、魅力的な新機種の新発売等により、販売は回復基調となっております。

このような事業環境下、当社グループの携帯電話等販売台数は371万台となり、スマートフォンの販売比率は7割強で推移いたしました。

モバイル事業においては、効率的な店舗運営や全社的な業務効率化等の構造改革を推進し、生産性や業務品質の向上に努めたことに加え、スマートフォン比率の上昇を契機に「スマホワールドの実現」に向けて、スマートフォン用アクセサリ等の関連商材・サービスの拡販やタブレットの提案を強化いたしました。

ソリューション事業においては、各種サポートサービスの販売が好調に推移し、法人向けモバイルソリューションにおける収益は前年同期並みを確保いたしました。固定回線系商材の販売が低調に推移いたしました。

決済サービス事業他においては、新たな商材の開拓を推進したことに加え、海外事業の展開に積極的に費用を投じました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高4,640億92百万円(前年同期比8.9%減)、営業利益96億93百万円(同15.4%増)、経常利益96億37百万円(同15.5%増)、四半期純利益53億33百万円(同16.1%増)となり、前年同期比で増益に転じました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(モバイル事業)

当第3四半期連結累計期間につきましては、前期末の駆け込み需要の反動等による第1四半期の販売台数減少の影響等もあり、売上高は3,818億99百万円(前年同期比6.6%減)となりました。しかしながら、通信事業者の新料金プラン導入や新型iPhoneをはじめとする魅力的な新機種の新発売により、第2四半期以降の販売市場は堅調に推移し、売上高も伸びました。

利益面においては、来客状況に合わせた適正な人員配置やシフト制勤務の見直し等による効率的な店舗運営の実現や全社的な業務効率化等の構造改革を推進し、生産性や業務品質の向上に努めました。また、TGアカデミー(社内教育・研修機関)を中心に販売スタッフのサービススキル向上を図り、タブレットの提案を強化したことに加え、お客様のスマートフォンライフ充実のため、スマートフォン用アクセサリショップの強化や商品ラインナップの拡充を図り、関連商材・サービスの提案も積極的に実施した結果、営業利益は73億93百万円(同33.8%増)となりました。

(ソリューション事業)

当第3四半期連結累計期間につきましては、引き続き企業のスマートフォンおよびタブレットの導入が進み、MDM(Mobile Device Management)やキッキングサービス等の各種サポートサービスの販売も好調に推移したことにより、法人向けモバイルソリューションにおける収益は前年同期並みを確保いたしました。しかしながら、固定回線系商材については、モバイルブロードバンドとの競争激化により販売が低調に推移した結果、売上高は192億66百万円(前年同期比8.1%減)、営業利益は18億46百万円(同15.5%減)となりました。

(決済サービス事業他)

当第3四半期連結累計期間につきましては、券面額を売上高とする電子マネー系商材から、受取手数料のみを売上高として計上するギフトカードへと商品構成が変化してきており、売上高は629億25百万円(前年同期比20.8%減)となりました。

利益面においては、ギフトカードの商材を拡充したものの、EC(電子商取引)やSNS(Social Networking Service)上での決済に利用できるPIN販売システムを用いた電子マネー系商材の販売が減少したことに加え、中国やシンガポールでの海外事業の展開に積極的に費用を投じたことにより、営業利益は4億52百万円(同34.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ18.0%減少し、1,502億95百万円となりました。これは主に売掛金が301億17百万円、未収入金が40億85百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ6.8%減少し、152億46百万円となりました。これは主にのれんが12億33百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ17.1%減少し、1,655億42百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ23.3%減少し、1,253億21百万円となりました。これは主に買掛金が167億31百万円、短期借入金が114億31百万円、未払金が32億82百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ8.0%増加し、134億48百万円となりました。これは主に長期借入金が9億82百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ21.1%減少し、1,387億70百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ12.9%増加し、267億72百万円となりました。これは主に四半期純利益53億33百万円による利益剰余金の増加、剰余金の配当24億5百万円による利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月15日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

当第3四半期連結累計期間業績の、平成26年5月15日に公表いたしました通期業績予想に対する進捗率は、売上高64.5%、営業利益74.6%、経常利益75.3%、四半期純利益73.6%で推移しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,490	2,358
売掛金	97,706	67,589
商品	45,146	47,855
貯蔵品	131	73
未収入金	34,874	30,789
その他	1,933	1,641
貸倒引当金	△16	△11
流動資産合計	183,266	150,295
固定資産		
有形固定資産	3,152	3,104
無形固定資産		
のれん	5,365	4,131
その他	973	948
無形固定資産合計	6,339	5,080
投資その他の資産		
敷金	4,319	4,330
その他	2,561	2,736
貸倒引当金	△8	△4
投資その他の資産合計	6,872	7,061
固定資産合計	16,364	15,246
資産合計	199,631	165,542
負債の部		
流動負債		
買掛金	82,187	65,456
短期借入金	28,566	17,135
1年内返済予定の長期借入金	12,100	8,080
未払金	35,120	31,837
未払法人税等	3,286	849
賞与引当金	1,427	844
短期解約損失引当金	218	142
その他	560	976
流動負債合計	163,466	125,321
固定負債		
長期借入金	10,268	11,250
退職給付に係る負債	389	402
資産除去債務	1,178	1,229
その他	614	566
固定負債合計	12,450	13,448
負債合計	175,917	138,770
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,127	3,154
資本剰余金	5,613	5,640
利益剰余金	23,478	26,405
自己株式	△8,755	△8,755
株主資本合計	23,464	26,445
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57	68
為替換算調整勘定	73	94
その他の包括利益累計額合計	130	162
少数株主持分	119	164
純資産合計	23,713	26,772
負債純資産合計	199,631	165,542

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	509,425	464,092
売上原価	463,702	419,315
売上総利益	45,722	44,776
販売費及び一般管理費	37,326	35,082
営業利益	8,396	9,693
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	3	3
受取保険料	17	20
損害賠償金収入	32	29
その他	43	28
営業外収益合計	99	84
営業外費用		
支払利息	141	125
その他	8	15
営業外費用合計	150	140
経常利益	8,345	9,637
特別利益		
固定資産売却益	1	0
ゴルフ会員権売却益	—	6
特別利益合計	1	6
特別損失		
固定資産除却損	36	46
投資有価証券評価損	24	197
特別損失合計	61	244
税金等調整前四半期純利益	8,285	9,400
法人税、住民税及び事業税	3,309	3,851
法人税等調整額	383	170
法人税等合計	3,692	4,021
少数株主損益調整前四半期純利益	4,593	5,378
少数株主利益	—	45
四半期純利益	4,593	5,333

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,593	5,378
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43	11
為替換算調整勘定	19	21
その他の包括利益合計	63	32
四半期包括利益	4,656	5,410
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,656	5,365
少数株主に係る四半期包括利益	—	45

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	モバイル事業	ソリューション事業	決済サービス事業他	合計
売上高	409,041	20,962	79,421	509,425
セグメント利益 (営業利益)	5,526	2,184	685	8,396

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	モバイル事業	ソリューション事業	決済サービス事業他	合計
売上高	381,899	19,266	62,925	464,092
セグメント利益 (営業利益)	7,393	1,846	452	9,693

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。